

# SUNSHINE

第52号 2010年 10月発行  
有限会社 太陽開発  
鹿児島市荒田2丁目43-19 TEL099-255-3623  
E-Mail master91@taiyou1991.com  
URL http://www.taiyou1991.com/



太陽開発

検索 クリック!!

賃貸マンション(オーナー様)をご紹介します! **鶴窪様 ホワイトシーガル99**

今回、ご紹介させて頂くのは武一丁目の「ホワイトシーガル99」のオーナー 鶴窪様です。  
鶴窪様は、当マンション2階に事務所を構え、電気工事の会社を経営しております。3階から6階までが、賃貸としてのお部屋となっております。間取りは2DKと3DKの2タイプで、新婚さんやカップルの方がお二人で、または、子供さんがいらっしゃるファミリーの方でもお住まいになれるマンション☆  
マンションの自慢点は?とお聞きますと「バス停まで徒歩1分!!」という所と「武小中学校がマンションの真裏にある」という所が自慢です!!と即答して頂いた鶴窪様。  
マンションのある場所は、中央駅西口まで一本道で、徒歩圏内(約10分)♪道路の向かい側には24時間営業のスーパーもあります!!お部屋は、全部屋南向きで、バルコニー側に建物は建っていないため、日当りはかなりいいです★しかも、ワンちゃんも猫ちゃんも飼育OKです!! 鶴窪様もペットは大好き♪とのことでした。  
マンションに一番長くお住まいの方でなんと14年!!しかも80代の女性がお一人で、快適にお住まいになられているそうです。エレベーターがあるので子供さんからご年配の方まで、快適にお住まいになります(〇〇)!  
入居者様にとって何よりも心強い点が、日曜日以外は、オーナーさんが2階にいらっしゃるということです!!もしも万が一トラブルがあったとしても、すぐ対応していただけるというのは、とても安心ですよ☆



《3DK》



《2DK》



ダイニングキッチン



和室の続き間



バックパッカー 龍太郎の旅の記録です

## モンゴル紀行

ゴビ砂漠

こんにちは。私は今、モンゴルの首都ウランバートルのイドレ・ゲストハウスにいます。ここは、ドミトリー(共同部屋)が1泊5ドルで朝食付きで、ホットシャワーも出る良いゲストハウスです。  
ただ、街の中心地に行くまでに歩いて20分程度かかるのが唯一の欠点です。9月3日の深夜にここに到着して、次の日には、このゲストハウスのツアーでゴビ砂漠に行ってきました。ツアーは高いし、自分自身で全て決めて行動することが出来ないで、あまり好きではありませんが、モンゴルは、交通が発達していないし、特に砂漠は難しいとのこと、このツアーに参加しました。メンバーは、ツインガル(モンゴル人ドライバー・男)ダイナ(23)(モンゴル人ガイド・女性)ルカ(30)とティア(27)(スロヴェニア人の兄と妹)ウォレンス(23)(アメリカ人・男)と自分の6人です。私達を乗せたジープは、道なき道を進んでウランバートルから南のゴビ砂漠に向かいました。この砂漠は、中国の農耕文化とモンゴルの遊牧文化を分ける砂漠であり、この砂漠があったからモンゴルが中国化されずに遊牧文化を守ってこれたということです。このツアーは8日間の行程でしたが、一日の約5~6時間は車に乗っていて、10~12時間は眠っていました。私達は、草原や砂漠に点在するゲルに泊まりながら移動したのですが、砂漠の中に存在するゲルには当然、電気も水もありません。その為私達は日が沈む8~9時には就寝していました。電気の代わりにロウソクを使って、水は20~30ℓ入りのポリタンクの水を大切に使いました。  
毎晩寝る前には、コップ1杯の水を二人ずつシェアして、歯磨き、すすぎ、歯ブラシの洗浄をしました。電気はそんなに感じませんでしたが、水の大切さを砂漠の中で感じる事が出来ました。  
夕飯は、ダイナが作った料理をゲルの外でみんなで食べます。360度見渡せる場所で食べる食事は何とも言えず開放的です。また、夜には星がキレイに見えます。天の川をあれ程ははっきり見れたのは初めてのことでないでしょうか!  
このゴビ砂漠の辺りは、多くの自然が残っています。この自然は大き過ぎて、日本人の私にとってはなかなか捕らえ難いものでもありました。大体の景色が同じ様に見えるし、どこまでも続いている様に思えるからです。

2010・9/12 ウランバートル・イドレゲストハウスにて



## やきとん豚道

オーナー 小池男太様

今回、ご紹介させて頂く飲食店は、先月騎射場にオープンした「やきとん豚道」です。騎射場で初めての豚料理専門店のお店です。店内は昭和後期のレトロな雰囲気、少し懐かしい感じを受けました。座席はカウンターやテーブル、座敷もご用意されていますので、団体はもちろんお一人でも入り易くなっています。メニューは、70品目以上で品数も充実していて、コース料理(飲み放題)も2,800円から選べます。

実際に食べてみて、オーナーの小池さんに美味しさの秘訣を伺ってみると、時間と手間をかけて仕込みをして肉の臭みをとっているそうで、特に内臓物のお料理には気を使っているそうです。串物は炭火で焼き上げているので、外はカリッと中はジューシーに仕上がります。

今回、頂いた料理は、串盛、豚しゃぶサラダ、大根と豚の軟骨煮、豚キムチ、豚道ビビンバ等です。どれも美味しかったのですが、特に美味しかったのは大根と豚の軟骨煮でした。低カロリーでコラーゲンが豊富に含まれているので特に女性の方に召し上がって頂きたい一品です。

騎射場に来る機会がありましたら是非、足をこばれてみてはいかがでしょうか?きっと満足していただけると思いますよ。



## やきとん豚道

住所: 鹿児島市荒田2丁目63-6-1F  
TEL: 099-251-9839

営業時間: 18:00~24:00

定休日 月曜日



大根と豚の軟骨煮



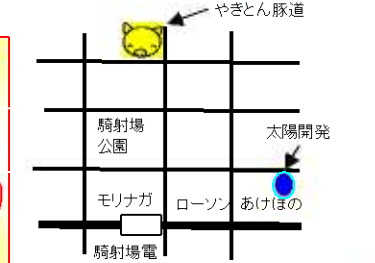
豚しゃぶサラダ



豚道ビビンバ



串の厚切りベーコン



## 今月の一冊

No.51



ツアーで宿泊したゲル

## インパラの朝

私は45ℓのバックパックの底に980円のシュワフを詰めた。三日分の着替えと洗面用具、パフロンとパファリンと正露丸を入れた。それからタンボンとショコラBB。口紅とアイシャドウと交通安全のお守りを用意した。パソコンとマイクとビデオカメラを買い揃え、小型のリュックに詰め込んだ。果物ナイフや針金と一緒に、ミッキーマウスのプリントがついた覆面も忍ばせた。そして、ジムで鍛えた両腕に四本の予防注射を打ち、体重を3キロ増やして日本を離れた。

## 中村安希

1979年京都府生まれ、三重県育ち。98年三重県立津高高校卒。2003年カリフォルニア大学アーバイン校、舞台芸術学部卒業。日米における3年間の社会人生活を経て、'06年ユーライア・アフリカ大陸へ旅行。各地の生活に根ざした「小さな声」を求めて47カ国をめぐる。'08年帰国。国内外にて写真展、講演会をする傍ら、世界各地の生活、食糧、衛生環境を取材中。他に、海外情報ブログ「安希のレポート」を更新中。

今月は、左記の「モンゴル紀行」を書いた息子のお薦めの一冊です。これまでも、バックパッカーの本は何冊か紹介しましたが、(高橋歩『世界一周しちゃえば』・沢木耕太郎『深夜特急』等)女性の書いた物は初めてです。率直な感想を述べると「安希ちゃん、貴女のような端正なお顔をされたお嬢さんが、何故そんな過酷な旅をなさる!」と言うことです。親御さんが読まれたら、卒倒しそうな過酷な旅の様が綴られています。しかし、彼女の観察力・洞察力、そして文章は大変クールで、小気味良く、簡潔で読んでいて気持ち良いです。同じ女性ということもあって、彼女と一緒に旅をして、一緒に悩み、怒り、そして感動しながら読めた一冊でした。